

本定例会会期中に各常任委員会を開催し、付託案件の審査及び所管事項調査を行いました。審査概要は次のとおりです。

総務文教常任委員会

所管事項調査における主な質疑・応答

質問 山ノ井保育園の設計の問題について、設計JVの責任を明確にしないまま、設計の修正作業を続ける考えか。

答弁 全ての責任を明確にするとともに、手続きに時間のかかる混構造から木造建築に切り替え、次の段階に進みたいと考えている。

【委員会における意見の集約】

山ノ井保育園の設計、整備に關して抜本的解決を図った後に、行政の管理・執行責任を明らかにすること。設計JVの責任は、当市、市民の不利益とならないよう厳しく追及すること。今後の対応としては、安全な施設を高い品質で建設することを目指し、市民や議会が納得のできる説明を行いながら進めること。

付託案件審査における主な質疑・応答

質問 柵口温泉権現荘等の指定管理者制度移行を前提とした条例改正案について、なぜこの時期に改正を行うのか。

答弁 指定管理に移行のできる条例が制定された後、指定管理に向けて、市民や議会、指定管理の可能性がある業者と協議を進めたいとの考えからである。

補正予算における主な質疑・応答

質問 糸魚川市入湯税条例の一部を改正する条例の審査において、条例と制度運用について担当部署における取扱いの不整合が市民厚生常任委員会で指摘されたが、監査上はどうなっていたか。

答弁 定期監査において、福祉事務所で実施している事業と市民課で取り扱う税制の内容に不整合があったことから、整合を図るように監査委員から指導を受けた。そのため、今回、字句等を訂正し適正にするために条例提案を行った。

建設産業常任委員会

補正予算における主な質疑・応答

質問 谷村美術館、翡翠園、玉翠園の負担金について、市内観光の充実をということで市が開園を求めてきた経緯もあるため仕方ない面もあるが、入客数が少なれば今後も支援を続ける考えなのか。

答弁 当初、2万人の利用を想定していたが、昨年12月18日現在で1万2千人となっている。3年を目途に榑谷村建設から借用し、運営する形としているが、負担金を減らす努力を行っていききたい。

質問 林道橋立上路線は、ここ5年を見ても、数か月しか全面開通していない。根本的な調査が必要なのでないか。

答弁 毎年災害が発生しており、復旧後1〜2か月経つと別の箇所がまた災害に遭うというようなことが続いている。ルート自体の見直しも考えられないわけではないが、部分的に災害の状況を克服しながらの対応が現実的と考えている。

質問 シーサイドバレースキー場の指定管理料の増額の補正800万円の内容は。

答弁 温泉汲み上げポンプの入れ替え等が約250万円、ゲレンデ整備車両の点検整備が約570万円、塩の道温泉遠方監視制御装置の改造工事が約85万円で、大規模修繕の残額が約100万円あるため、差し引き800万円を補正したことと理解願いたい。

【委員会における意見の集約】

指定管理料や負担金の赤字補填的な支出について、緊急事態であるから増額するというかたちではなく、年次計画や運営管理の仕方を考えて、厳しいルールのもとで対処すべきである。